

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立湊小学校
校長氏名	戸川 定昭
作成日	平成31年2月26日

1 教育目標

人間性豊かで、たくましい子

- み…未来にはばたくたくましい子ども
- な…何事も真剣にやりとげる子ども
- と…友達を大切にす子ども

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心・健やかな体の育成	地域とともにある学校
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着 ○コミュニケーション能力の育成 ①話し合い活動や発表する活動を取り入れる。 ②読み聞かせ、家庭読書の充実を図る。 ③補充学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な運動による体力向上 ○生命の尊さ、自他の人権を尊重する態度や道徳心を培い、思いやりのある子を育てる。 ①大会、運動、文化行事等への積極的な参加を促し、体力の増進と豊かな心を育てる。 ②縦割り活動の推進や清掃活動の充実を図る。 ③挨拶運動の励行を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校、家庭・地域との連携・協力の維持 ①各種便り、HP等を通して、積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。 ②保幼小の接続、中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実させる。 ③授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○全教員が研究授業を実施し、活発な研究協議を行った。 ○うちどくコーナーを充実させるとともに、読書カード等導入し、読書活動を促した。 ○週2回の放課後の補充学習を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マラソン大会、なわとび記録会等、体力向上の行事を行い、子供達に目標を持たせ、体力向上に努めた。 ○生活調査を実施した。 ○遠足、運動会、集会等で、縦割り活動を取り入れた。 ○特別の教科となった道徳の時間において、教材を活用し授業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域から協力・支援をいただき、様々な行事を実施・成功させた。 ○ゲストティーチャーによる湊太鼓、生姜づくり、環境問題、地域の歴史学習など、多様な学習活動を取り入れた。
(評価結果【C】)	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科を中心に、教員の授業力が向上しつつある。 ○県学習状況調査の正答率が、昨年度より大幅にアップした。 ○本を借りる児童が増えた。 ○放課後の補充学習の教材を整理し、児童が自分で、自分の能力に合わせて、教材を選択し、学習するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童は積極的に運動に取り組むようになった。 ○朝食を食べて来る児童が100%であった。 ○学年を超え、交流することにより児童の多様なコミュニケーションの機会が増えた。 ○児童の思いやりの心を涵養することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の児童の見守りは、地域や保護者の協力を得ながら、安全、安心できる体制を作れている。 ○様々な児童に対する相談活動でS.カウンセラーや関係機関等を活用できた。 ○地域の様々なスポーツや文化行事等を広報・啓発し、地域を愛せる児童、地域に密着した学校をつくっていききたい。 ○学校の様子が伝わったと回答した保護者が63.8%であり、学校の情報を更に発信していく必要がある。
次年度に向けての改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ○更なる児童の学力の向上を目指す。 ○図書を整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科化された道徳教育を更に充実させる。 ○友達の良さを認め合える学級・学校づくりをすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会を更に充実させる。 ○地域に密着した文化、芸術、スポーツへの児童の積極的な参加を促す。

3 その他の課題

--